

このコンテンツでわかること

ボックスくじは、箱の中に決まった本数のくじが入っています。引くたびに本数が減るため、**当たりの確率は毎回変わります**。

「あと何本で当たりが出るか」をデータで追いながら、「**どこでやめるか**」という判断とデータの関係を考えましょう。

4つのプリセット（初期設定）

スタンダード	レア重視	ハーフセット	500円系
総本数：65本 A賞3・B賞3・C賞3 D賞8・E賞12・F賞16・G賞20 当たり（A～C）：9本	総本数：49本 A賞1・B賞2・C賞2 D賞4・E賞9・F賞16・G賞15 当たり（A～C）：5本	総本数：37本 A賞2・B賞2・C賞2 D賞4・E賞9・F賞8・G賞10 当たり（A～C）：6本	総本数：34本 A賞1・B賞2・C賞2 D賞2・E賞9・F賞8・G賞10 当たり（A～C）：5本

ツールの操作手順

1 ツールを開き、プリセットを選ぶ

先生から共有されたURLを開く。まず「スタンダード」で試そう。

2 状態パネルを確認しながら引く

1回引く を押すたびに「残り本数」「残り当たり本数」「現在の確率」が変化する。確率バーの動きを観察しよう。

当たりを引いたとき・はずれを引いたとき、それぞれ確率がどちらに動くか注目しよう

3 「どこでやめる」を使ってみる

途中で **ここでやめる** を押すと、その時点の結果がまとめ表示される。「何本引いたら当たりを何本ひけたか」を記録しよう。

4 プリセットを変えて比べる

リセット してプリセットを切り替え、同じ本数（例：10本）引いた時の当たり本数を比べよう。

5 当たり賞を変えて実験する

設定欄で「当たりにする賞」のチェックを変更すると、当たりの定義が変わる。「A賞だけを当たり」にした場合と「A～C賞すべてを当たり」にした場合で初期確率を比べよう。

グループ活動の流れ



キーワード

非復元抽出（ひふくげんちゆうしゅつ） 一度引いたものを戻さずに次を引く方法。ボックスくじはこれにあたり、引くたびに残り本数が減って確率が変化する。

当たり確率（条件付き確率） 「今の残り本数の中で当たりが何本あるか」によって決まる確率。はずれを引くと当たり確率は上がり、当たりを引くと下がる。

期待値（きたいち） 平均的に得られると見込まれる結果の値。「10本引いたとき平均何本当たるか」など、データをもとに判断する根拠になる。



ワークシート | ボックスくじシミュレータ

07-03 データのナゾを体験しよう！

グループ名 _____ 記録担当 _____ 年 組 _____

A. 実験の前に予想しよう

1 「スタンダード」（全65本、当たり9本）で10本引いたとき、当たりは平均何本出ると思う？

約 _____ 本 （理由： _____ ）

2 はずれを続けて引くほど、次の当たり確率はどうなると思う？

 上がる 変わらない 下がる

B. 実験の結果を記録しよう

3 「スタンダード」で10本・20本・全部引いた時点の当たり本数と確率を記録しよう

引いた本数	当たり本数（累計）	残り本数	現在の当たり確率
10本引いた時点			%
20本引いた時点			%
全部引いた時点		0本	—

4 プリセットを変えて「10本引いたときの当たり本数」を比べよう（各1回ずつ）

プリセット	総本数	当たり初期確率	10本引いた当たり本数
スタンダード	65本	13.8%	
レア重視	49本	10.2%	
ハーフセット	37本	16.2%	
500円系	34本	14.7%	

C. 気づき・考察

5 はずれを引いたとき・当たりを引いたとき、確率はどう変化した？ 実験で確かめてわかったことを書こう

6 データをもとに「何本引くのがいちばんお得か」をグループで考えて書こう

 グループのまとめ：ボックスくじの確率の特徴を一文で書こう